

平成30年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、「日立市かみね公園」を中心として、公園内の「レジャーランド」及び「ゆうえんち」における遊戯施設の運行、飲食及び販売事業の展開のほか、来訪者に「かみね公園」の四季折々の魅力を楽しんでいただくために、年間を通して各種イベント等を開催しています。

さらには、日立市が所有する健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」と「日立市かみね市民プール」及び観光レクリエーション施設である「奥日立きららの里」についても平成18年度から指定管理者として継続して管理運営を行っております。

本協会は、これら5つの施設運営等を通し、日立市民はもとより、市外・県外からの多くの来園者に憩いの場を提供することにより、福祉の増進と地域活性化に寄与すべく努めています。

平成30年度は、事業計画に基づく安全衛生管理の徹底を最優先とし、施設整備や各種イベントの開催及び広報宣伝活動等の諸事業を展開してまいりました。「かみね市民プール」を除く管理運営施設4施設の利用者数は、来園者が多く見込めるゴールデンウィーク時の天候不順や夏期の猛暑等の影響により、総体的に前年より減少しました。合わせて、事業収入も前年度より減収となりましたが、諸経費の節減を図るなど、健全経営に努めてまいりました。

I 事業内容

1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「日立市ホリゾンかみね」、「日立市かみね市民プール」及び「奥日立きららの里」の管理運営事業のほか、魅力あるイベントの開催や自主事業として各種教室等を展開するなど、利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

（1）かみね公園の事業

ア かみね公園全般の事業

園内で開催する各種催事は、日立市や関係団体と連携・協力しながら事業を展開しました。

代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園・平和通りを中心に開催しました「第 56 回日立さくらまつり」におきましては、かみね公園会場の運営の一部を担いました。開催期間中は、協力事業として桜のライトアップのほか、レジャーランドにおいてのキャラクターショーやのりもの乗り放題デー等を開催し、賑わいづくりに努めました。

また、来園者が最も多く見込めるゴールデンウィークには、「かみね公園ちびっこまつり」を開催し、レジャーランド内において各種イベントを実施するほか、園内無料シャトルバスの運行とともに交通誘導警備員を配置し、来園者の利便と混雑防止を図りました。

さらに、日立市の夏の風物詩であり 61 回目の開催となりました「日立あんどんまつり」におきましては、園内をライトアップし、市内の子どもを中心とした子どもあんどん絵画コンテスト(241 点の応募)を実施しました。また、日立市かみね動物園との連携により来園者により楽しんでいただくべく「夜の動物園」の開催に合わせ、レジャーランドとゆうえんちの夜間営業とともに、各種イベントを実施しました。

その他、「かみね公園秋まつり」や「かみね公園正月まつり」など、1 年を通して各種イベントを開催することにより、公園全体の魅力づくりを図りながら憩いの場の提供に努めました。

イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型遊戯施設を有する遊園地であり、主なイベントとして低廉な料金でのりものを利用できる乗り放題デー等を各まつり期間中に実施しました。合わせて、子どもたちが楽しみにしているキャラクターショー(年間 11 回

開催)の開催や、本協会のオリジナルキャラクター着ぐるみによる利用者サービスのほか、入園無料期間(6月・2月)を設けました。以上のように、各種イベントの開催や大型遊戯施設を備える遊園地の運営を通して、地域住民等に娯楽と潤いのある生活を享受していただけるよう、より親しまれる施設づくりに努めました。

また、冬の閑散期を利用して経年劣化が進んでおりました遊戯施設の修繕や塗装工事を実施しました。

ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的低年齢層の来園者が多い施設です。開催するイベントも利用者層に合わせた3世代ファミリー無料乗車券のプレゼント、七五三時期の千歳飴プレゼント、動物園とタイアップしたカブト虫やクワガタなどの身近な生き物の展示をしたほか、ハロウィンイベント、冬の動物園＆ゆうえんちまつり等を開催しました。「ゆうえんち」の運営に当たりましては、来園した幼児・児童等が家族や友だちとのふれあいや思い出づくりの機会を提供することを主眼としており、子どもたちの健全な成長に寄与することに努めました。

また、春秋の遠足シーズンには、子どもたちに校外学習の場を提供し、教育の一端も担いました。

(2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度から日立市により指定された指定管理者として、継続的に管理運営を担ってきております。平成30年度は指定期間3年の1年目ですが、引き続き日立市の意向を充分に踏まえ、諸事業を展開しつつ利用者増に努めるとともに、安全かつ効率的な管理運営を行いました。

ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけよう、施設の管理を行いました。施設の特性を活かして、春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展、ホタル観賞会やレクリエーション大会、ランニングフェスタなど1年を通して各種イベントを開催しました。

本年度の入場者数は、かみね公園と同様に入場者が見込めるゴールデンウィーク時の天候不順や夏季の猛暑等の影響で、前年度より減少しました。

イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。施設内にトレーニングルームや浴室を備えていることから、それらを活用した自主事業としてエアロビクス教室やマットピラティス教室等を開催しました。

また、1階ロビーの一部をギャラリーとして市民に開放し、写真展、魚拓展や押し花絵展等を開催しました。

本年度の入場者数は、地階入浴施設の改修工事により、その期間は利用ができなかったことから、前年度より減少しました。

ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。市民プールにおいては、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室を開催し、利用者増に努めました。

2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

（1）施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業においては、収益増を図るための売れ筋商品の調査研究を実施したほか、積極的な新規メニュー及びオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの追加を実施しました。

出店事業においては、日立市池の川運動公園売店を中心に各種イベント開催時の出店を行い収益を確保しました。

（2）カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は 100 円から 200 円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

（3）プレイランド運営事業

レジャーランド内において、100 円から 200 円の投入式ゲーム機及び定置式のりものを設置したゲームコーナーを設けて運営しました。

II 管理施設の利用状況及び売上実績

1 利用状況

(1) かみね公園

(単位：人)

区分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合計
30年度	345,148	59,420	65,617	61,992	532,177
29年度	351,301	67,560	63,091	78,243	560,195
増減	△ 6,153	△ 8,140	2,526	△ 16,251	△ 28,018

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数

(2) きららの里

(単位：人)

30年度	65,361
29年度	70,857
増減	△ 5,496